

発行編集

社団法人 **福岡県防犯協会連合会**
 〒812-8576 福岡市博多区東公園7番7号
 福岡県警察本部内 TEL.092(633)3221
 ホームページ <http://www.fukuboren.com/>
 昭和32年8月5日 第3種郵便物認可
 平成23年7月1日発行
 毎月1回1日発行 定価一部5円
 印刷 白木メディア株式会社



防犯ふくおか

7月

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。

夏休みは、子どもたちが様々な体験を通じて大きく成長する期間でもあります。学校や勉強等からの開放感から、繁華街や公園等での夜遊びが心配されます。

このまま放置すると飲酒、喫煙や深夜はいかい、家出等を繰り返して、不良行為や万引きや乗り物盗などの非行に走り、また、出会い系サイト等を使用して、犯罪の被害に巻き込まれることが心配されます。更には、暴力団員や親交者との接触する機会が増え、組織に入るよう誘われ、非行を助長されたりするおそれもあります。

夏休み！少年を非行と犯罪から守ろう！！

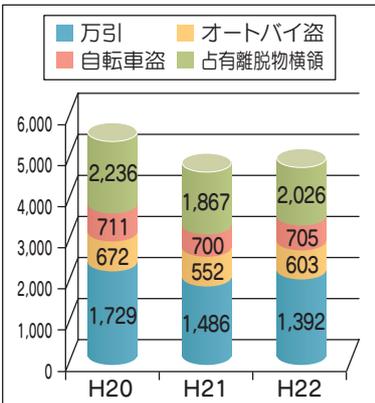
子どもの変化に
無関心でない！
不良行為に
知らない振りをしない！



毎年7月は、内閣府が主唱する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に合わせ、少年非行及び犯罪被害を防止する活動が展開されます。保護者の方は、親子間の対話を深めるとともに、地域の皆さんも、子どもに関心を持ち、夏休み期間を利用して、対話や声かけなどを行い、青少年の規範意識の向上を図り、非行の未然防止に努めましょう。警察では、問題を抱えた少年に対し、積極的に手を差し伸べ、地域社会との絆を強化する中で立ち直りを支援するとともに、少年の社会気運の醸成を図るなどにより、非行少年を生まない社会作りを推進しています。

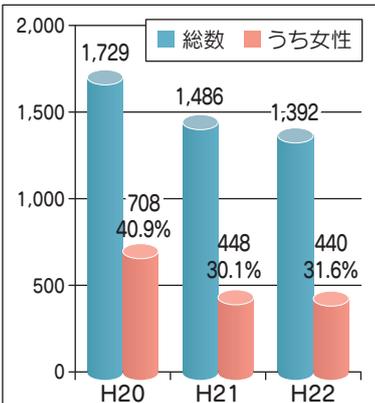
初発型非行の実態(平成22年中)

少年非行の入り口といわれる初発型非行で検挙補導された少年は、4,726人で、前年に比べ121人(2.6%)増加し、刑法犯少年全体の約76%を占めており、依然として少年非行の中心となっております。



万引き(平成22年中)

万引きで検挙補導された少年は1,392人で、前年比94人(6.3%)減少していますが、うち女子が約32%を占めています。また、窃盗犯の約半数、刑法犯少年全体の約22%を占めています。



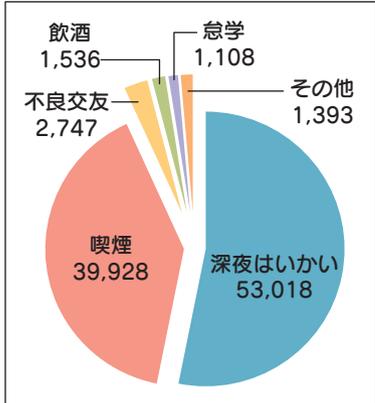
万引きは「犯罪」

万引きは、非行の入り口として、依然として高い水準で推移しています。万引きを繰り返して行ううちに集団化、常習化しやすく、恐喝やひったくり等の本格的な非行に発展する可能性があります。

家庭では、小さいときから「してはいけないこと」や「我慢すること」などの基本的なしつけが必要です。

不良行為少年(平成22年中)

不良行為で補導された少年は、99,730人で9割以上が深夜はいかいと喫煙です。うち女子は、17,820人で全体の約18%を占めています。



非行のサインを見逃さない

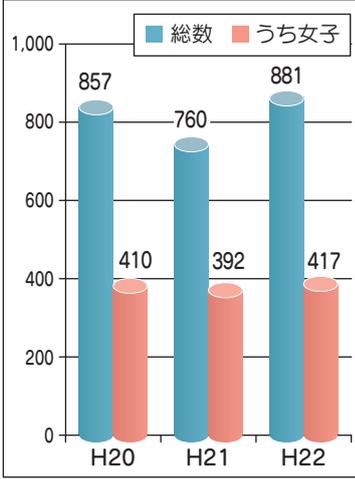
深夜はいかいや喫煙などの不良行為は、少年からの「非行のサイン」です。早期に発見して正しく指導することが必要です。

周りの大人も「たかが喫煙などと、みて見ぬふりをせず、少年の非行のサインとして受け止め、真剣に対応しましょう。」

メッセージ

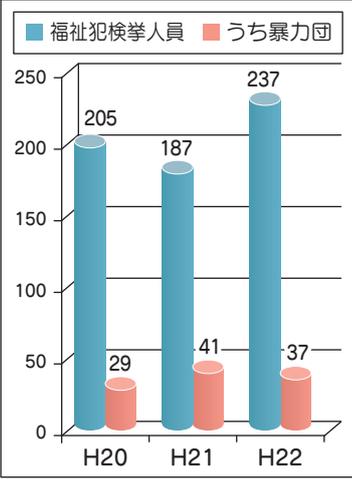
少年の家出 (平成22年中)

家出をして発見・保護された少年は、881人で前年に比べ121人(約16%)増加しています。家出少年のうち、164人(約19%)が刑法犯少年として検挙補導されており、非行を誘発する大きな原因の一つとなっています。特に夏休み期間は、開放感から家出する少年が増加しています。



少年の福祉を害する暴力団 (平成22年中)

少年に対し、「性的ないたずらをする」「売春を強要する」「シンナーや覚せい剤を密売する」など、少年の福祉を害する犯罪で暴力団37人を含む237人が検挙され、被害を受けた少年336人が保護されています。



子どもを取り巻く危険と、その対策

★子どもの周りの有害環境

ゲームセンターや飲食店等、深夜に「子供たちの溜まり場」となりやすい場所や「性や暴力」を扱った過激な内容の雑誌等の販売など、子どもたちの周りにどのような「有害環境」があるかを把握し、地域の問題として考え、積極的に環境浄化に努めましょう。

◆対策

- 通学路の卑わいな看板やポスターの撤去
- ゲームセンターやコンビニ等、溜まり場となりやすい場所の見回りや、深夜の立ち入り制限等の要請

★有害情報の氾濫

携帯電話やインターネットでは、「出会い系サイト」をはじめ、「人を中傷する書き込み」など、様々な有害情報が氾濫しています。保護者と子どもが話し合い、被害に遭わないよう対策をたてましょう。

◆対策

- インターネットや携帯電話等の家庭でのルール作り
- フィルタリングの活用
- 好奇心や軽い気持ちで使用してしまう危険な「大麻や覚せい剤、シンナー等」、学校、地域の協力とともに、家庭でも、自分の子どもには無関係と思わず、日ごろからの恐ろしさを教えておく必要があります。

★薬物への誘惑

好奇心や軽い気持ちで使用してしまう危険な「大麻や覚せい剤、シンナー等」、学校、地域の協力とともに、家庭でも、自分の子どもには無関係と思わず、日ごろからの恐ろしさを教えておく必要があります。

◆対策

- 繁華街のパトロール
- やキャンペーンの実施
- 学校、地域、家庭等の連携による薬物乱用の防止対策の推進



平成23年度 福岡県警察官募集案内

平成23年度福岡県警察官第2回試験日程等は次のとおりです。



平成23年度採用試験日程等

試験種類・区分	採用予定数	受付期間	第一次試験日	
第2回試験	警察官A(第2回男性) ～大学卒業程度	86人	8月8日(月) ～ 8月29日(月)	(1日目) 9月18日(日)
	警察官A(第2回武道指導) ～大学卒業程度	2人		(2日目) 10月上旬～ 10月中旬
	警察官B(男性) ～高校卒業程度	135人	13人	
	警察官B(女性) ～高校卒業程度	13人		

【福岡県警察官採用試験の特徴】

※第1次試験で教養試験等(1日目)と体力検査(2日目)を実施します。

警察官採用試験に関する問い合わせは、福岡県警察本部警務課採用センターまでお願いします。なお、県警ホームページに受験資格等の詳細な募集案内を掲載しています。

【問い合わせ先】

警務課採用センター TEL 092-622-0700(直通)
県警ホームページ <http://www.police.pref.fukuoka.jp>



今すぐアクセス→

くらしの110番 クーポン共同購入サイトのトラブル急増!

★「クーポン共同購入サイト」とは

インターネットのクーポンサイトで割引クーポン券の購入者を募り、決められた時間内に最低販売枚数以上の購入者が集まれば割引クーポン券が購入できるシステムです。ただし、最低販売枚数に届かないと契約は不成立になります。

◆事例1

12,000円の中華料理のコースが3,000円になるクーポン券を購入し、食事に行ったが広告に出ているコース料理の写真と全く違う内容で量も少なく素材の質も悪かった。

◆事例2

通常6,000円のコースが2,000円になるエステのクーポン券を購入した。購入後、予約を取ろうとしたが、クーポンが使える期間内は空きがなく取れそうにない。共同購入サイトに連絡するが返事がない。

★アドバイス

- 返品ができないことが多いので、サイトの利用条件などを確認すること。
- 利用期限が決められているものについては、利用期間に余裕があるか十分に検討すること。
- インターネット上の取引は通信販売にあたる可能性があり、クーリング・オフによる契約の解除ができないので契約は慎重に。

【資料提供～福岡市消費生活センター】

福岡県防犯協会連合会総会の開催

去る5月23日(月)、福岡市内のホテルにおいて各地区防犯協会長等の出席のもと、通常総会が開催されました。冒頭、東日本大震災において犠牲になられた方々のご冥福を祈るため、黙とうを捧げました。井手副会長、白石県警生活安全部長のあいさつ後、議案審議に入り、

- 役員等の選任
- 平成22年度事業報告
- 収支決算・財産目録
- 平成23年度事業計画案
- 収支予算案
- 公益社団法人への移行認定申請の準備
- 定款の変更案
- 役員就任予定者案
- 関係規程の改正等
- 東日本大震災被害に伴う防犯ボランティア支援



等について、満場一致で、議決・承認されました。

「ちっぴNEWS」パトロール隊の発隊式

筑後警察署と防犯協会等は、管内の読売朝日、毎日、西日本各新聞社の各販売店21店舗が団結し、新聞配達員約250名の隊員が朝夕刊の配達時にパトロール活動を行い、事件・事故や不審者等を警察に通報することを目的にした「ちっぴNEWSパトロール隊」の発隊式を行いました。中村防犯協会長が代表者に防犯グッズを渡して激励し、隊員はお揃いの防犯ベストを着用して、一斉にパトロールに出発しました。

全国的に地域の防犯ボランティア団体となっていることが課題となつていますが、同パトロール隊はこれを補完することができ、大きな効果が期待されています。



福岡県警 東日本大震災地域特別派遣部隊 ~被災者の思いを胸に活動~

東日本大震災に伴う福岡県警の地域特別派遣部隊は、福島県に派遣され、被災地域を中心とした警戒、警ら、現場広報等の活動を行っています。隊員は、現地の悲惨な状況、被災者の苦悩を目の当たりにし、「被災者の少しでも役に立てば」との思いから、当防犯協会から支援した洗剤やボールペン等の広報啓発物を被災された高齢者の方々や子どもたちに配布するなど、交流を深めながら、被災者の安全安心を願い活動を続けています。被災者等からは、福岡県警のお巡りさんの活動に感謝の声が寄せられました。



被災者との触れあい



地元のボランティアとともに

地域の力 頑張っています

防犯ボランティア団体の紹介

(ペンリリー)



◎団体名

平尾校区青少年育成連合会

◎活動地区

福岡市中央区平尾小学校区

◎活動内容等

私たちの団体は、役員約6名が中心となり、様々な団体と協働し、登下校時における校区内のパトロール活動を行っています。また、平成10年から、夜間帯の青少年の非行防止、塾帰りのなどの子どもたちの安全を守るため、警察、区役所、学校、PTA、地域住民等と協働して「夜間愛護パトロール」を行っています。

この「夜間愛護パトロール」は年6回行っており、回を重ねるごとに参加者も増え、現在では約50名による徒歩パトロールに加え、青パトも導入した活動を行っています。

今後、継続的にパトロールを行い、青少年の非行防止と、子どもたちが犯罪の被害者にならない地域社会づくりを目指していきます。



◎団体名

笹原校区子ども見守り隊

◎活動地区

大牟田市笹原小学校区

◎活動内容等

私たちの団体は、笹原小学校区で児童の安全な登下校を見守るために、平成17年5月に発足し、活動しています。市内の各小学校区では、同様な見守り隊が組織されていますが、本校区の見守り隊長は、市内見守り隊総会の初代会長です。本見守り隊は、総数百名を超える人数で組織されており、その活動も活発に行われています。朝の集団登校で子どもたちを引率したり、下校時間に各ポイントに立つて子どもたちを見守るなど、それぞれ出来る範囲で日々の活動をしています。

最近、物騒な事件も多く、警察や学校からの依頼で特別警戒として活動することもあります。これからも、子どもの安全を願い、活動を続けていきます。

